



# 油性鉄部用 シリコン For Metal Coating

サビと戦う!!  
強力サビドメ剤配合



ツヤあり  
1回塗り  
0.7L

標準塗り面積  
(1回塗り)  
6~8m<sup>2</sup>  
タタミ3.7~4.9枚分



塗りにくいときは  
ペイント  
うすめ液  
(10%以内)  
でうすめて下さい。

速乾  
タイプ  
超耐久  
シリコン変性アルキド樹脂  
高光沢  
きれいな仕上がり

- 塗膜が硬くキズがつきにくい!!
- シャッターに最適!!
- 鉄・アルミ・ステンレスに塗れる!!※

消防法上の  
非危険物

鉛 無鉛塗料  
鉛・クロム化合物は  
使用していません。

使用方法・注意書きをよく読んで  
から使用して下さい。

※アルミ・ステンレスに直接塗装する場合、  
素地を研磨する必要があります。

商品名 油性シリコン鉄部用 品名 合成樹脂塗料  
成分 合成樹脂(シリコン変性アルキド樹脂)、顔料、有機溶剤  
特長

- シリコン変性樹脂の使用により、耐久性に優れ、美しい光沢を保ちます。
- 酸性雨や酸性雪、塩害に強く、強力サビドメ剤を配合していますのでサビの発生を防ぎ、長期間鉄製品を守ります。
- 車や工場からの排気ガスに強く、長期間塗膜が劣化しません。
- 1回塗りで仕上がり、大変塗りやすい塗料です。
- 消防法上の非危険物(指定可燃物)です。

## 用途

- 門扉・ドア・フェンス・シャッター・パイプ・機械器具・農機具など屋内外の鉄部・鉄製品、アルミ建材、ステンレス製品
- 家具・建具などの屋内の木部・木製品(床を除く)(食器など直接口に触れるものや玩具など誤って口に入れる恐れがあるもの、常時水につかるもの、車のマフラーなど耐熱性が必要なところには適しません)

## 塗装方法

- はがれかかった古い塗膜やサビは、皮スキ・ワイヤーブラシ・サンドペーパーなどを使用して十分に取除きます。  
●塗る面のゴミや汚れ・カビを取り、十分に乾かします。油分やワックスはペイントうすめ液でふいてよく落とします。  
●アルミ建材、ステンレスに塗装する場合には必ず表面をサンドペーパー(#320 ~600)で研磨して下さい。
- 塗料がついては困るところは、あらかじめマスキングテープなどでおおいます。
- 容器のフタに手をそえて、フタと容器の間にできるだけ幅の広いマイナストライパーを差し込んで開け、棒などで中身を底から十分にかき混ぜて均一にします。
- 塗料の粘度が高く塗りにくいときは、ペイントうすめ液で少し(10%以内)うすめます。  
●コーナーや塗りにくいところは先にすじかいバケで塗ります。広い面積の部分はコテバケ・ローラーバケ・平バケなどを使うと、速く塗ることが出来ます。  
●マスキングテープは、塗料が手につかなくなったらはがします。
- 塗り重ねる場合は、1日以上(冬期は2日以上)乾かしてから塗り重ねます。乾燥が不十分な状態で塗り重ねると塗膜がシワ状に浮き上がることがあります。

## 用具の手入れ方法

塗料が乾かないうちに、ペイントうすめ液やハケ洗いで洗って下さい。ハケについている塗料を新聞紙などでごき取ってから洗えば、ペイントうすめ液は少量で済みます。

## 保管上の注意

- 幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・いたずらをしていないよう注意して下さい。
- 残った塗料は、フタをし、直射日光や火気のある場所、容器がさびやすい所を避けて保存して下さい。

**取扱上の注意** ①表示の用途以外には使用しないで下さい。②自動車の補修には適しません。③火気のあるところでは塗らないで下さい。④溶剤蒸気を吸入しないよう、目に入らないよう、また誤飲しないように注意して取扱って下さい。⑤有機溶剤が含まれているので、塗装中、乾燥中ともに換気をよくして下さい。使用している原材料の影響で乾燥後もしばらくの間は塗料の臭いが残ります。取扱いは手袋などを着用して、皮膚に触れないようにして下さい。⑥塗料が衣服につくときれいに落とせません。塗料がついても支障がない服装で作業して下さい。⑦塗装は雨の降りそうな日や湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。⑧乾燥が不十分な状態で塗装面が結露するとツヤ引けや塗膜性能の低下につながりますので、結露しやすい時期・場所に塗装する場合は塗り終える時間等を十分に考慮して塗って下さい。⑨あらかじめ目立たない部分で試し塗りをして、色・乾燥性・下地への影響・密着性などを確かめてから塗装して下さい。⑩うすめすぎたり、うすく塗りすぎると、うまく仕上がらない場合があります。⑪サビ落としをした鉄部に塗るときには、あらかじめ油性のサビドメ塗料を下塗りして下さい。⑫塗り面積・乾燥時間は、色・素材・塗り方・気象条件などにより多少異なります。⑬一度に厚塗りすると、乾燥に長期を要する場合があります。⑭ヤニのある箇所は乾燥がかなり遅くなったり、場合によっては乾かないことがあります。⑮容器は塗料を使い切ってから捨てて下さい。⑯塗料を移し替える場合は金属等の溶けない容器をご使用下さい。⑰やむをえず塗料を捨てるときは、油性塗料用固化剤で固化するか新聞紙などに塗り広げ、完全に乾かしてから一般ゴミとして処分して下さい。

| 危険                                                                                        |  |
|-------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|                                                                                           |  |
|                                                                                           |  |
|                                                                                           |  |
| ●引火性あり ●皮膚刺激<br>●アレルギー性皮膚反応のおそれ<br>●臓器の障害<br>●呼吸器への刺激のおそれ<br>●眼炎やめまいのおそれ<br>●水生生物に非常に強い毒性 |  |

**救急処置**

- 目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは、医師の診察を受けて下さい。

非危険物(指定可燃物)／火気厳禁 合成樹脂調合ペイント(P-017)  
株式会社 ASAHI PAINT 大阪府鶴見区鶴見4-1-12  
http://www.asahipaint.jp  
お客様相談室 東京03(3846)9545／大阪06(6934)0300 日本製  
01-1106